札幌市立星置中学校　学校だより

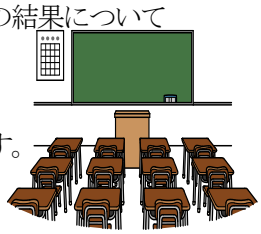
星はいつも

特別号

令和８年 11 月 20 日（金）発行

令和８年度　全国学力・学習状況調査　本校の結果について

去る４月２３日と５月１日の２日間にわたり、中学３年生を対象として全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」について本校生徒の状況をお知らせします。すでに札幌市全体の状況については新聞等で発表になっておりますのでご覧になった方も多いのではないかと思います。過日、文部科学省から届いた結果と、結果から読み取れる、本校生徒の傾向と課題及び改善の方向性についてもお知らせいたします。この結果については、今後
の学習指導等に活かしていきたいと考えております。なお、個人票はすでに３年生本人及び
保護者の方へお渡ししておりますので、こちらの表や解説と併せてご覧いただければと思います。



１．冊子による筆記方式

	区　分	全国平均との比較
国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	ほぼ同程度であるが、やや上回っている
	情報の扱い方に関する事項	ほぼ同程度であるが、やや下回っている
	話すこと・聞くこと	ほぼ同程度であるが、やや上回っている
	書くこと	上回っている
	読むこと	上回っている
数学	数と式	ほぼ同程度であるが、やや上回っている
	図形	上回っている
	関数	ほぼ同程度であるが、やや上回っている
	データの活用	ほぼ同程度であるが、やや上回っている

①国語に関する概要と改善の方向

＜概要＞

本校では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「話すこと・聞くこと」の区分が全国平均と比べると「ほぼ同程度であるが、やや上回っている」という結果であり、「情報の扱い方に関する事項」の区分が全国平均と比べると「ほぼ同程度であるが、やや下回っている」という結果でした。また、「書くこと」、「読むこと」の区分では全国平均と比べると「上回っている」という結果でした。

<改善の方向>

今回の結果から、単語の類別や情報と情報との関係を捉えることに課題が見られた一方、文章の展開や必要な情報を捉える問題では、全国平均を上回る項目もありました。話し合いを通して考えをまとめる問題では、正答率が全国平均を下回り、無解答率も高くなっています。今後は、読み取った情報を整理し、相手の考えを踏まえて自分の考えをまとめ、書いて表現する活動を充実させる必要があると考えます。話し合いの中で共通点や相違点を整理し、根拠を明確にして結論をまとめる場面を意図的に設定することで、考えを整理して表現する力の育成と無解答率の減少を図っていきたいと思います。

②数学に関する概要と改善の方向

＜概要＞

本校では、「図形」の区分が全国平均と比べると「上回っている」、「数と式」、「関数」、「データの活用」の区分は「ほぼ同程度であるが、やや上回っている」という結果でした。

＜改善の方向＞

「数と式」区分は全体としては高い水準ですが、正答率が低い項目もあります。事柄が成り立つ理由について文字を使って説明する力、統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明する力が課題として挙げられます。文字を用いた式で数量や数量関係をとらえ、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取り説明をしたりする活動を積極的に授業に取り入れます。

２．オンライン（MEXCBT）によるテスト

①英語に関する概要と改善の方向

＜概要＞

２日日程でテストが行われました。リスニングとリーディング、ライティングが１日目。別日にスピーキングのテストを実施しました。全国平均と比べると、リスニング分野、ライティング分野では「上回っている。」、リーディング分野に関しては「ほぼ同程度である」という結果でした。一方、スピーキング分野においては、状況や条件が提示され、それらに対しての理由などを述べる場面において、もう一段階の向上が期待されます。一方、スピーキングでは即興で自分の考えをまとめて話す問題において無解答が多くなりました。

＜改善の方向＞

スピーキング分野では、「～したいこと」を一つ取り上げ、その理由まで含めて話す問題の正答率が低い傾向にあります。特に、自分の考えや理由を順序立てて伝える力に課題が見られます。今後は、Yes / No で答えられるクローズドクエスチョンだけでなく、5W1H を用いた質問や活動を積極的に取り入れ、生徒の発話機会を増やすことで、自分の考えを具体的かつ論理的に伝える力の育成を目指します。

本校としましては、今後とも札幌市が掲げる「課題探究的な学習」を目指し、学習指導のより一層の充実に向けて、全校体制で授業研修を進めていきたいと考えております。

※なお、札幌市の詳しいデータをお知りになりたい方は、札幌市公式ホームページ：「教育・文化・スポーツ」→「学校・幼稚園・教育」→「教育についての取組・計画」→「調査・統計」→「全国学力・学習状況調査」に掲載されていますのでそちらをご覧ください。

【 掲載先アドレス：https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/gakute/gakute_hp.html 】

３．質問紙調査から

＜全国平均より高い主な項目＞

① 学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。

② 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

肯定的な回答の割合

	全 国	本 校
①	７２．２	**７６．７**
②	７１．９	**７７．９**

＜全国平均より低い主な項目＞

① 将来の夢や目標をもっていますか。

② 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



	全 国	本 校
①	６７．６	**６０．８**
②	７８．６	**７３．０**

全国平均より低い項目はありますが、全体的に見ると、多くの生徒が学校や家庭で、落ち着いた生活を送っていることがうかがわれます。

ここに挙げたものは、あくまでも生徒の一面にすぎません。良いところはさらに伸ばし、低かった項目については改善のための支援をしていきたいと考えております。今後とも、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。